

浅井小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調 査 場 所 名 (No.)			浅井小学校の裏(当日町) No.1				北ノ郷町 No.2				No.3				
月 日 時 刻			6月11日 14時00分				7月2日 11時00分								
天 気			曇り				曇り								
水 温 (°C)			20.0 °C				20.5 °C								
気 温 (°C)			29.0 °C				30.5 °C								
川 幅 (m)			1.6 m				1.8 m								
河 川 名			用水路				用水路								
生 物 を 採 取 し た 場 所			全面				全面								
水 深 (cm)			6.0 cm				10.0 cm								
流 速 (cm / s)			7.7 cm/s				25.0 cm/s								
水 の よ う す		指 標 生 物													
I き れ い	1	カワゲラ類													
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツトビケラ類						○							
	3	ヒラタカゲロウ類		○				○							
	4	ブユ類													
	5	ヘビトンボ類													
	6	カガンボ類						○							
	7	サワガニ		●				●							
I・II 共通	8	ウスムシ類													
	9	2以外のトビケラ類													
	10	3、14以外のカゲロウ類		○				○							
II 少しよごれている	11	ヒラ外ロムシ類													
	12	シジミ類													
II・III 共通	13	カワナ		○				○							
III よごれている	14	サホコカゲロウ		○				○							
	15	ヒル類													
	16	ミスムシ		○											
	17	モノアラガイ													
III・IV 共通	18	サカマキガイ													
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ													
	20	イトミミズ類						○							
	21	ハナアブ類													
水 質 判 定 表	水のようすの区分			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)		3	2	3		5	2	2	1				
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)		1				1							
	合 計 (1欄+2欄)			4	2	3		6	2	2	1				
	判定結果(合計が最も大きい区分)			I				I							

1. 活動の様子

本校のみずすまし調査隊は、4年生の児童27名での活動です。総合的な学習の時間の取り組みとして実施しました。

昨年度は草野川の水質について調査しており、今年度も同じ場所で調査して昨年度と比較したいと考えていました。しかし、工事のため草野川の水が塞ぎ止められてしまったので、やむを得ず昨年度とは違う場所での調査となりました。

今年度は、学校の裏の用水路と、近くの北ノ郷町の用水路の2か所を調査しました。生き物に興味・関心のある子が多く、みずすましの調査を楽しみにしていました。調査した日は両日とも大変暑かったのですが、どの子も熱心に活動に取り組んでいました。

2. 学校の裏の用水路での水生生物調査

水生生物調査の1回目は、浅井小学校（当目町）の裏の用水路で行いました。初めての調査ということで、講師の先生をお招きし、調査方法を教えていただきながら実施しました。

最初に水質調査をしたところ、川底の状態は小石・砂・泥が混じっていました。水は透明で、においもほぼ感じられず、COD値は3でした。また、用水路の中にはクロモが群生しており、その中には数えきれないくらいの大小様々なサワガニが生息していました。採取を進めていくと、きれいな水質を好むヒラタカゲロウ類やガガンボ類に加え、汚れている水に生息するサホコカゲロウ、ミズムシも見つかりました。学校裏の用水路には、水質階級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに生息する水生昆虫が、混在していることがわかりました。指標生物以外には、スジエビ・ヌマエビ・ゲンゴロウ・ヤゴ・ゲンジボタルの幼虫・ヨシノボリ・メダカ・カワムツの稚魚が見つかりました。



〈1回目の調査で見つかった水生生物の例〉





3. 北ノ郷町の用水路での調査

水生生物調査の2回目は、浅井小学校のある当目町の隣、北ノ郷町の中を流れる用水路で行いました。2回目なので、子どもたちは慣れた手つきで調査に取り組んでいました。

水質調査をすると、川底の状態は小石と砂で、水は透明でにおいもほぼ感じられず、COD 値は 2 でした。学校裏の用水路と同じように、大小様々なサワガニがたくさん見つかりました。その他に見つかった指標生物は、きれいな水質にすむヒラタカゲロウ類・ガガンボ類から、数匹でしたが大変汚れた水を好むイトミミズ類まで、水質階級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ全ての生物が見られました。その中でも一番多くの種類が採取できたのは、Ⅰに属する水生生物でした。指標生物以外に見つかったものは、ヤゴ・タニシ・オタマジャクシ・ナベブタムシ・ヨシノボリ・メダカです。



〈2 回目の調査で見つかった水生生物〉





4. 子どもたちの感想

- ・学校の裏の川にはそんなに生き物がいないと思ったけれど、思っていたより生き物がいたのでびっくりしました。
- ・みずすまし調査をして一番心に残ったのは、いろいろな生き物に触れ合えたことです。普段は川の中に入る機会がないので、いい機会でした。
- ・浅井小の裏の小川や北ノ郷の小川は、みんなが大切にしているからきれいなんだなと思いました。
- ・学校の裏や北ノ郷の小川には、数が少なくなっている生き物があるので、すごくきれいでえさも豊富にあるんだなと思いました。
- ・川が汚くなると、きれいな水にすむ生き物がすめなくなるので、川を大切にしたいと思いました。
- ・水生生物調査をしてわかったことは、成長ごとにすむ場所を変える生き物がいるということと、成長すると幼虫の頃からは想像もできない姿になる生き物がいるということです。

5. 考察とまとめ

学校裏の用水路も北ノ郷の用水路も、流れる水の色は透明でにおいもほぼありませんでした。見た目では両方とも同じ水質に感じられましたが、調査をしてみると、北ノ郷の用水路の方が水質Ⅰに属する生物が多く見られました。一見すると同じような水質に見えても、生息する生き物は場所によって少しずつ違うということがわかりました。

みずすまし調査を通して、学校や北ノ郷町の用水路には、想像以上に多くの水生生物が生息していることがわかり、子どもたちも大変驚いていました。このような貴重な生物の生態系を守るためにどうしていったらいいのか、子どもたちと共に今後も引き続き考えていきたいと思います。